

管理会計論B		教授 白山 真一	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目 教職科目	科目ナンバリング	23010206 25320213

1. 授業のねらい・概要

管理会計は、企業戦略の策定、経営意思の決定、マネジメント・コントロールおよび業務活動のコントロールを通じて企業経営者を支援するものである。本講義では、管理会計の基本的な概念や用語を理解するとともに、実際の企業経営等で管理会計がどのような機能を果たしているのかについて、実務的・体系的に、かつ平易に説明する。なお、前期実施の「管理会計 A」の履修が前提であり、その他「工業簿記」「原価計算論」「経営分析」などを履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

前期実施の「管理会計論 A」と同様に、各回について以下の 8. に記載のテキストを利用した講義形式で実施する。必要に応じて、新聞報道などを参考にしながら実務的な説明も行う。管理会計に関する簡単な練習問題も実施する。

3. 授業計画

1. 管理会計論 A の復習	9. バランスト・スコアカード② (BSC の運用・導入ケース)
2. 管理会計論 A の発展学習① ー経営意思決定支援会計(演習)ー	10. 知的資本の基礎とインタンジブル・マネジメント
3. 管理会計論 A の発展学習② ー経営分析(演習)ー	11. 人事管理の基礎と人的管理会計
4. 原価計算論① (意義・原価概念・費目別/部門別/製品別計算)	12. IT の基礎と IT 管理会計
5. 原価計算論② (個別原価計算・総合原価計算)	13. 統合報告と管理会計
6. 原価計算論③ (標準原価計算・直接原価計算)	14. 特殊領域の管理会計ー病院管理会計・行政管理会計ー
7. 活動基準原価計算 (ABC/ABM)	15. まとめと復習
8. バランスト・スコアカード① (BSC の役割・フレームワーク)	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の講義テーマについてテキストの該当箇所の予習（30分程度）をしておき、自分の理解が不十分な部分を明確にしたうえで受講すること。復習には指示した練習問題（30分程度）を実施すること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイント等の解答例を配布する。

6. 授業における学修の到達目標

管理会計の基本的な概念を理解したうえで、企業経営上における管理会計の機能を体系的に把握することにより、インターネットやマスメディアなどを通じて開示・報道される企業の管理会計の実例を自ら検討できるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（50%）および定期試験の結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、櫻井通晴・伊藤和憲編著（2017）『ケース 管理会計』（中央経済社）を使用する。参考文献は、櫻井通晴著（2019）『管理会計 第七版』（同文館出版）、岡本清等（2008）『管理会計』（中央経済社）をあげておく。

9. 受講上の留意事項

毎回の講義はテキストに従って実施するので、テキストは必ず持参すること。計算による説明が一定程度生じるが、可能な限り理解しやすい解説をしていくので、疑問点や不明点は遠慮することなく、積極的に講師に問いかけてもらいたい。